

# 神奈川県立中央農業高等学校

## 農業クラブ本部



高校生ボランティア・アワード2023

### 「農業高校生が取り組むこと」

私たち、農業高校生は専門高校生ならではの授業や実習などを日々取り組み学んでいます。

現在、私たちが所属する農業クラブ本部では校内活動の他、校外のフードバンク活動に農業クラブ本部の生徒を中心に月1回～3回参加させていただいています。フードバンク活動では、学校で栽培し、規格外や収穫で余ってしまった野菜、校内で呼びかけて回収した食品、使わなくなった洋服や文房具、おもちゃなどをフードバンクに寄付しています。

このように日々取り組む活動を文化祭などでフードバンク活動の紹介を行い、保護者や地域の方々にも知ってもらい、協力していただいています。



### 「もったいないからありがとうへ」

世界にはまだまだ多くの生活困窮者がいます。私たちが少しでも多くの方々を救うためには、募金活動やフードドライブで不必要なものを持っていくことが大切だと考えます。「すべてごみに回せばいい。」という考えの方もいるかもしれませんが、ごみを燃やすには温室効果ガスの二酸化炭素が発生するため、地球温暖化が進みます。地球温暖化が進んでしまうと氷や氷河が溶けて、海の水が増加してしまうため低い土地や島が海に沈んでしまいます。こうならないために私たちひとりひとりが協力すれば、少しでも多くの人を救えると考えます。

### 「フードバンクってどんな活動？」

現在、世界ではフードロス(食品ロス)が大きな注目を浴びており、解決すべき課題となっています。日本でも企業や個人が取り組みを始めていて、その取り組みの1つに「フードバンク」という活動があります。

そもそも、「フードバンク」とは、安全に食べられるのに包装の破損や印字ミスなどの理由で通常の販売が困難な物を寄付していただき、必要としている施設・団体の困窮世帯に無償で提供している取り組みです。「フードバンク」活動を行う上で、食品を廃棄せず寄付に回せることで、食品廃棄物削減に繋がったり、足を運んでくださる方々とのコミュニケーションが図れるという利点があります。「フードバンク」活動には他に「フードドライブ」という活動があり、家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらを取りまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動です。アメリカで食品ロスの削減と生活困窮者支援の目的で始まり、福祉施設や団体は食費を浮かせて、予算をしかるべき活動に生かせたり、学校や職場、人の集まる場所ならいつでもどこでもボランティア活動ができるメリットがあります。

### 「これからのこと」

私たちはNPO法人フードバンク横浜に参加し、学んでいくうちにフードバンク活動をより多くの方々に知ってもらいたいと感じています。

しかし、本校は海老名市にあるため、横浜市に行くためには交通費や時間の関係上、多くの回数を参加することが難しい状況にあります。そこで、本校のある海老名市に協力していただき、市内でのフードバンク活動の実現に向けて計画しています。

これらを実現することができれば、私たちの経験を活かして身近でより多くの方々の手助けができると考えています。また、現在参加しているNPO法人フードバンク横浜にも今後も参加させていただき、ボランティアについて学んでいきたいと考えています。



### 活動団体プロフィール

神奈川県立中央農業高等学校 農業クラブ本部

- ・1学年 0名
- ・2学年13名
- ・3学年 8名 計21名

本校では園芸科学科、畜産科学科、農業総合科の生徒が学年・学科に関係なく、所属しています。

校内：農業クラブ活動に関する大会の運営などを行っています。  
校外：学校を代表して県内農業高校生の会議に出席し、意見交換会。また、地域イベントへの参加。  
隣接する支援学校の子どもたちと交流会を実施しています。